

第171回 日商簿記検定試験 1級 一商業簿記一

解 説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 連結会計 ※ 仕訳の単位は千円とする

(注) 本問では、連結貸借対照表(以下、連結B/S)の作成のみ求められているため、損益項目は全て利益剰余金として解説する。

○ 資本のタイムテーブル (S社)

	X3 年度末	X4 年度末	X5 年度末
	支配獲得		一部売却
資 本 金	500,000	500,000	500,000
利 益 剰 余 金	500,000	+20,000 → 520,000	*+26,000 → 538,000
評 価 差 額	14,000	14,000	14,000
その他有価証券評価差額金	—	+7,000 → 7,000	+5,600 → 12,600
合 計	1,014,000	1,041,000	1,064,600
の れ ん	74,200	△7,420 → 66,780	△7,420 → 59,360
非支配株主持分	304,200	+8,100 → 312,300	+7,080 → 319,380 (30%)
			↓ +159,690
			479,070 (45%)

※ 538,000千円 (X5年度末利益剰余金) + 8,000千円 (S社配当) - 520,000千円 (X4年度末利益剰余金) = 26,000千円

1. X4年度の連結B/Sの作成に必要な連結修正

(1) 開始手続

① S社の土地の時価評価

土 地	20,000	繰 延 税 金 負 債	6,000
		評 価 差 額	14,000

※ 繰延税金負債 : 20,000千円 (時価評価差額) × 30% (法定実効税率) = 6,000千円

② 段階取得に係る差益 ★ 問3①の解答

関 係 会 社 株 式	28,000	利 益 剰 余 金	28,000
		(段階取得に係る差益)	

※ 400株 (X1年度末取得株式数) × (@280千円 (X3年度末時価) - @210千円 (X1年度末取得原価)) = 28,000千円

③ 取得関連費用

利 益 剰 余 金 (取得関連費用)	14,000	関 係 会 社 株 式	14,000

④ 投資と資本の相殺

資 本 金	500,000	関 係 会 社 株 式	784,000
利 益 剰 余 金	500,000	非 支 配 株 主 持 分	304,200
評 価 差 額	14,000		
の れ ん	74,200		

★ 問1の解答

- (a) 関係会社株式: 784,000千円 (投資と資本の相殺) - 28,000千円 (段階取得に係る差益) + 14,000千円 (取得関連費用) = **770,000千円**
- (b) 非支配株主持分: 1,014,000千円 (x3年度末S社資本合計) × 30% (非支配株主持分割合) = **304,200千円**
- (c) 繰延税金負債: **6,000千円**
- (d) 資本金: **500,000千円**
- (e) 利益剰余金: 500,000千円 (x3年度末S社資本) - 28,000千円 (段階取得に係る差益) + 14,000千円 (取得関連費用) = **486,000千円**
- (f) 土地: **20,000千円**
- (g) のれん: 784,000千円 (関係会社株式) - {1,014,000千円 (x3年度末S社資本合計) × 70% (親会社持分株主割合)} = **74,200千円**

(2) 当期手続

① のれんの償却 ★ 問3②の解答

利 益 剰 余 金 (のれん償却)	7,420	の れ ん	7,420
----------------------	-------	-------	-------

※ 74,200千円 (のれん) ÷ 10年 (償却年数) = 7,420千円

② S社の「利益剰余金」の増加額を非支配株主へ按分

利 益 剰 余 金	6,000	非 支 配 株 主 持 分	6,000
-----------	-------	---------------	-------

※ 20,000千円 (x4年度の増加額) × 30% (非支配株主持分割合) = 6,000千円

③ S社の「その他有価証券評価差額金」の増加額を非支配株主へ按分

その他の包括利益累計額	2,100	非 支 配 株 主 持 分	2,100
-------------	-------	---------------	-------

※ 7,000千円 (x4年度の増加額) × 30% (非支配株主持分割合) = 2,100千円

④ 未実現利益の整理

利 益 剰 余 金 (売上原価)	5,000	棚 卸 資 産	5,000
繰 延 税 金 資 産	1,500	利 益 剰 余 金 (法人税等調整額)	1,500

※ 棚卸資産: 20,000千円 (P社から仕入れた期末商品) × 25% (売上総利益率) = 5,000千円

※ 繰延税金資産: 5,000千円 (棚卸資産) × 30% (法定実効税率) = 1,500千円

⑤ 債権・債務の相殺・消去

買 掛 金	35,000	売 掛 金	35,000
-------	--------	-------	--------

⑥ 貸倒引当金の消去

貸 倒 引 当 金	700	利 益 剰 余 金 (貸倒引当金繰入額)	700
利 益 剰 余 金 (法人税等調整額)	210	繰 延 税 金 負 債	210

※ 貸倒引当金: 35,000千円 (消去した売掛金) × 2% (貸倒引当金設定率) = 700千円

※ 繰延税金負債: 700千円 (消去した貸倒引当金) × 30% (法定実効税率) = 210千円

★ 問2の解答 (X4年度連結B/Sの金額)

- (a) 売掛金 : 540,000千円 (X4年度末P社) + 160,000千円 (X4年度末S社) - 35,000千円 (債権債務の相殺・消去)
=665,000千円
- (b) 棚卸資産 : 380,000千円 (X4年度末P社) + 110,000千円 (X4年度末S社) - 5,000千円 (未実現利益の整理)
=485,000千円
- (c) 貸倒引当金 : 10,800千円 (X4年度末P社) + 3,200千円 (X4年度末S社) - 700千円 (貸倒引当金の消去)
=13,300千円
- (d) 土地 : 800,000千円 (X4年度末P社) + 500,000千円 (X4年度末S社) + 20,000千円 (S社の土地の時価評価)
=1,320,000千円
- (e) のれん : 74,200千円 (投資と資本の相殺) - 7,420千円 (のれんの償却) **=66,780千円**
- (f) その他有価証券 : 190,000千円 (X4年度末P社) + 60,000千円 (X4年度末S社) **=250,000千円**
- (g) 繰延税金資産 : 24,000千円 (X4年度末P社) + 24,000千円 (X4年度末S社) - 6,000千円 (S社の土地の時価評価に係る繰延税金負債) + 1,500千円 (未実現利益の整理) - 210千円 (貸倒引当金の消去に係る繰延税金負債) **=43,290千円**
- (h) 買掛金 : 420,000千円 (X4年度末P社) + 300,000千円 (X4年度末S社) - 35,000千円 (債権債務の相殺・消去)
=685,000千円
- (i) 資本金 : 1,500,000千円 (X4年度末P社) + 500,000千円 (X4年度末S社) - 500,000千円 (投資と資本の相殺)
=1,500,000千円
- (j) 資本剰余金 : **500,000千円**
- (k) 利益剰余金 : **797,570千円** (下記参照)

X4年度末個別貸借対照表の合計額	1,300,000千円	
連結修正	開始手続	当期手続
段階取得に係る差益	28,000千円	—
取得関連費用	△ 14,000千円	—
投資と資本の相殺	△ 500,000千円	—
のれんの償却	—	△ 7,420千円
S社の「利益剰余金」の増加額を非支配株主へ按分	—	△ 6,000千円
未実現利益の消去 (税引後)	—	△ 3,500千円
貸倒引当金の消去 (税引後)	—	490千円
連結 B/S の金額	797,570千円	

- (l) その他の包括利益累計額 : 28,000千円 (X4年度末P社) + 7,000千円 (X4年度末S社) - 2,100千円 (S社の「その他有価証券評価差額金」の増加額を非支配株主へ按分) **=32,900千円**
- (m) 非支配株主持分 : 304,200千円 (投資と資本の相殺) + 6,000千円 (S社の「利益剰余金」の増加額を非支配株主へ按分) + 2,100千円 (S社の「その他有価証券評価差額金」の増加額を非支配株主へ按分)
=312,300千円

2. X5年度の連結B/Sの作成に必要な連結修正

(1) 開始手続

上記1を参照。なお、1(2)④～⑥は考慮しないこと。

(2) 当期手続

① のれんの償却

利 益 剰 余 金 (のれん償却)	7,420	の れ ん	7,420
----------------------	-------	-------	-------

※ 74,200千円 (のれん) ÷ 10年 (償却年数) = 7,420千円

② S社の「当期純損益」を非支配株主へ按分 ★ 問3③の解答

利 益 剰 余 金 (非支配株主に帰属する当期純利益)	7,800	非 支 配 株 主 持 分	7,800
--------------------------------	-------	---------------	-------

※ $26,000 \text{ 千円 (X5 年度当期純損益)} \times 30\% \text{ (非支配株主持分割合)} = 7,800 \text{ 千円}$

③ S社の「その他有価証券評価差額金」の増加額を非支配株主へ按分

その他の包括利益累計額	1,680	非 支 配 株 主 持 分	1,680
-------------	-------	---------------	-------

※ $5,600 \text{ 千円 (X5 年度の増加額)} \times 30\% \text{ (非支配株主持分割合)} = 2,100 \text{ 千円}$

④ 剰余金の配当の消去

利 益 剰 余 金 (受取配当金)	5,600	利 益 剰 余 金	8,000
非 支 配 株 主 持 分	2,400		

※ 受取配当金 : $8,000 \text{ 千円 (S社配当額)} \times 70\% \text{ (親会社株主持分割合)} = 5,600 \text{ 千円}$

※ 非支配株主持分 : $8,000 \text{ 千円 (S社配当額)} \times 30\% \text{ (非支配株主持分割合)} = 2,400 \text{ 千円}$

⑤ 未実現利益の整理

イ 期首商品の未実現利益の整理

利 益 剰 余 金	3,500	利 益 剰 余 金 (売上原価)	5,000
利 益 剰 余 金 (法人税等調整額)	1,500		

※ 売上原価 : $(20,000 \text{ 千円 (P社から仕入れた期首商品)} \times 25\% \text{ (売上総利益率)}) \times 70\% \text{ (1 - 30\% (法定実効税率))} = 3,500 \text{ 千円}$

※ 法人税等調整額 : $(20,000 \text{ 千円 (P社から仕入れた期首商品)} \times 25\% \text{ (売上総利益率)}) \times 30\% \text{ (法定実効税率)} = 1,500 \text{ 千円}$

ロ 期末商品の未実現利益の整理

利 益 剰 余 金 (売上原価)	7,000	棚 卸 資 產	7,000
繰 延 税 金 資 產	2,100	利 益 剰 余 金 (法人税等調整額)	2,100

※ 棚卸資産 : $28,000 \text{ 千円 (P社から仕入れた期末商品)} \times 25\% \text{ (売上総利益率)} = 7,000 \text{ 千円}$

※ 繰延税金資産 : $7,000 \text{ 千円 (棚卸資産)} \times 30\% \text{ (法定実効税率)} = 2,100 \text{ 千円}$

⑥ 債権・債務の相殺・消去

買 掛 金	40,000	売 掛 金	40,000
-------	--------	-------	--------

⑦ 貸倒引当金の消去

貸 倒 引 当 金	800	利 益 剰 余 金	700
		利 益 剰 余 金 (貸倒引当金繰入額)	100

※ 貸倒引当金 : $40,000 \text{ 千円 (消去した売掛金)} \times 2\% \text{ (貸倒引当金設定率)} = 800 \text{ 千円}$

利 益 剰 余 金	210	繰 延 税 金 負 債	240
利 益 剰 余 金 (法人税等調整額)	30		

※ 繰延税金負債 : $800 \text{ 千円 (消去した貸倒引当金)} \times 30\% \text{ (法定実効税率)} = 240 \text{ 千円}$

(8) 一部売却の処理

イ 売却原価・売却損益の整理

	個別上	連結上
売却額		180,000千円
売却原価	165,000千円	157,800千円
売却益	15,000千円	22,200千円

※ 売却額 : 600 株 (売却した株式数) × @300 千円 (売却単価) = 180,000 千円

※ 個別上の売却原価 : {770,000 千円 (関係会社株式) ÷ 70% (親会社株主持分割合)} × 15% (売却持分割合)
= 165,000 千円

※ 連結上の売却原価 : {1,064,600 千円 (X5 年度末 S 社資本) - 12,600 千円 (X5 年度末 S 社その他有価証券評価差額金)} × 15% (売却持分割合) = 157,800 千円

ロ 関係会社株式売却益の修正

関係会社株式	165,000	非支配株主持分	157,800
利益剰余金 (関係会社株式売却益)	15,000	資本剰余金	22,200

※ 関係会社株式 : {770,000 千円 (関係会社株式) ÷ 70% (親会社株主持分割合)} × 15% (売却持分割合)
= 165,000 千円

※ 非支配株主持分 : {1,064,600 千円 (X5 年度末 S 社資本) - 12,600 千円 (X5 年度末 S 社その他有価証券評価差額金)} × 15% (売却持分割合) = 157,800 千円

ハ 関係会社株式売却益について税金費用を考慮する場合

資本剰余金	6,660	利益剰余金 (法人税等)	6,660
-------	-------	-----------------	-------

※ 法人税等 : 22,200 千円 (資本剰余金) × 30% (法定実効税率) = 6,660 千円

(9) 一部売却に伴う「その他有価証券評価差額金」の非支配株主への按分

その他の包括利益累計額	1,890	非支配株主持分	1,890
-------------	-------	---------	-------

※ 12,600 千円 (X5 年度末 その他有価証券評価差額金) × 15% (売却持分) = 1,890 千円

★ 問2の解答 (X5 年度連結 B/S の金額)

(a) 売掛金 : 580,000 千円 (X5 年度末 P 社) + 180,000 千円 (X5 年度末 S 社) - 40,000 千円 (債権債務の相殺・消去)

= 720,000 千円

(b) 棚卸資産 : 390,000 千円 (X5 年度末 P 社) + 116,000 千円 (X5 年度末 S 社) - 7,000 千円 (未実現利益の整理)

= 499,000 千円

(c) 貸倒引当金 : 11,600 千円 (X5 年度末 P 社) + 3,600 千円 (X5 年度末 S 社) - 800 千円 (貸倒引当金の消去)

= 14,400 千円

(d) 土地 : 800,000 千円 (X5 年度末 P 社) + 500,000 千円 (X5 年度末 S 社) + 20,000 千円 (S 社の土地の時価評価)

= 1,320,000 千円

(e) のれん : 74,200 千円 (投資と資本の相殺) - 14,840 千円 (X4 年度及び X5 年度のれんの償却) **= 59,360 千円**

(f) その他有価証券 : 175,000 千円 (X5 年度末 P 社) + 68,000 千円 (X5 年度末 S 社) **= 243,000 千円**

(g) 繰延税金資産 : 24,000 千円 (X5 年度末 P 社) + 26,000 千円 (X5 年度末 S 社) - 6,000 千円 (S 社の土地の時価評価見係る繰延税金負債) + 2,100 千円 (未実現利益の整理) - 240 千円 (貸倒引当金の消去に係る繰延税金負債) **= 45,860 千円**

(h) 買掛金 : 440,000 千円 (X5 年度末 P 社) + 290,000 千円 (X5 年度末 S 社) - 40,000 千円 (債権債務の相殺・消去)
= 690,000 千円

(i) 資本金 : 1,500,000 千円 (X5 年度末 P 社) + 500,000 千円 (X5 年度末 S 社) - 500,000 千円 (投資と資本の相殺)
= 1,500,000 千円

- (j) 資本剰余金 : 500,000 千円 (X5年度末P社) + 22,200 千円 (関係会社株式売却益の修正) = **522,200 千円**
 (k) 利益剰余金 : **866,420千円** (下記参照)

X5年度末個別貸借対照表の合計額		1,398,000千円	
連結修正		開始手続	当期手続
段階取得に係る差益		28,000千円	—
取得関連費用	△ 14,000千円	—	—
投資と資本の相殺	△ 500,000千円	—	—
のれんの償却	△ 7,420千円	△ 7,420千円	—
S社の「利益剰余金」の増加額を非支配株主へ按分	△ 6,000千円	—	—
未実現利益 (税引後)	消去	△ 3,500千円	△ 4,900千円
	実現	—	3,500千円
貸倒引当金の消去 (税引後)		490千円	70千円
S社の「当期純損益」を非支配株主へ按分		—	△ 7,800千円
剰余金の配当の消去		—	2,400千円
関係会社株式売却益の修正		—	△ 15,000千円
連結 B/S の金額		866,420千円	

- (l) その他の包括利益累計額 : 17,500千円 (X5年度末P社) + 12,600千円 (X5年度末S社) - 3,780千円 (X4年度及びX5年度のS社の「その他有価証券評価差額金」の増加額を非支配株主へ按分) - 1,890千円 (一部売却に伴う「その他有価証券評価差額金」の非支配株主への按分) = **24,430千円**
 (m) 非支配株主持分 : 304,200 千円 (投資と資本の相殺) + 13,800 千円 (X4年度及びX5年度のS社の「利益剰余金」の増加額及び「当期純損益」を非支配株主へ按分) + 3,780 千円 (X4年度及びX5年度のS社の「その他有価証券評価差額金」の増加額を非支配株主へ按分) - 2,400 千円 (剰余金の配当の消去) + 157,800 千円 (一部売却に伴う持分の増加) + 1,890 千円 (一部売却に伴う「その他有価証券評価差額金」の非支配株主への按分) = **479,070千円**

(n) 別解

資本剰余金 : 500,000 千円 (X5年度末P社) + 15,540 千円 (関係会社株式売却益の修正) = **515,540千円**

※ 22,200 千円 (連結上の売却益) - 6,660 千円 (税金費用の修正額) = 15,540 千円

利益剰余金 : 866,420 千円 (上記(k)参照) + 6,660 千円 (税金費用の修正額) = **873,080千円**

3. X5年度のその他の包括利益

- (1) 資本のタイムテーブルの一部 (P社)



- (2) その他の包括利益の算定 ★ 問3④の解答

△10,500 千円 (P社X5年度減少額) + 5,600 千円 (S社X5年度増加額) = **△4,900千円**